安全データシート（SDS）

１・製品等及び会社情報

化学物資等の名称（製品名）	マルチパーパス
製品コード	B154
会社名	株式会社ドット・シー
住所	千葉県松戸市常盤平 6-28-14
担当部門	
担当者	渡辺　隆二
電話番号	047-711-6066
FAX番号	047-711-6067
作成日	2014 年 11 月 10 日
改訂日	
推奨用途及び使用上の制限	塗装面の汚れ落とし　ソリッド・メタリック・パールマイカ用

２・危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性（経口）	区分 4
皮膚腐食性・刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
特定標的臓器特性（単回暴露）	区分 2（中枢神経系）

ラベル要素

シンボル



注意喚起語　　危険

危険有害性情報

飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
臓器（中枢神経系）の障害のおそれ

【安全対策】

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙しないこと。
取扱い後は手など、よく洗うこと。

【応急措置】

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

【保管】

施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

容器を密栓すること。

【廃棄】

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3．組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

含有成分及び含有量

成分･化学名	含有量M%	CAS No.	化審法 No	安衛法 No.	PRTR 法 No	毒劇法 No
アミンオキサイド系(両性)	5-15	非公開	2-198	非該当	非該当	非該当
メタケイ酸ソーダ	1-5	1344-09-8	1-508	非該当	非該当	非該当
水溶性溶剤	5-15	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
非イオン系界面活性剤	2	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
エチレンジアミン４酢酸ソーダ	１以下	64-02-8	2-1265	非該当	非該当	非該当
水	70-80	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当

化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報告示整理番号

労働安全衛生法

表示物質：施工令第 18 条　名称等を表示すべき有害物質

通知物質：法第 57 条の 2　施工令 18 条の 2 別表第 9　名称等を通知すべき有害物質

PRTR法：　特定化学物質の環境への排出量の把握及び改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号

毒劇法：毒物及び劇物取締法

4・応急措置

吸入した場合　：

・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

・直ちに医師に連絡すること。

皮膚（又は髪）に付着した場合　：

・直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。

・皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

・汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

眼に入った場合　：

・水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合にははずして洗うこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：

・口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪いときは、医師に連絡すること。

暴露したとき、又は気分が悪いとき

・医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状　：

・特になし

応急措置をする者の保護　：

・特になし

医師に対する特別な注意事項　：

・特になし

5. 火災時の措置

消火剤

・製品は不燃性。周辺火災に適した消化剤を使用すること。

・初期消火には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。

・大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

使ってはならない消火剤

・情報なし

火災時の特有の危険有害性

・現在のところ有用な情報なし。

特有の消火方法

・消火作業は、可能な限り風上から行う。
・関係者以外は安全な場所に退去させる。
・危険でなければ火災区域から容器を移動する。
・移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却すること。
・この製品自体は燃焼しない。

消火を行う者の保護

・消火作業の際は適切な保護具（耐熱着衣、呼吸保護マスク）を着用すること。

6、漏出時の処置

人体に対する注意事項、	：作業の際には適切な保護具を着用すること。
保護具及び緊急時措置	：関係者以外の立ち入りを禁止する。
	：漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
	：必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	：環境中に放出してはならない。
	：河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和	：少量の場合、ウエス等を用いて吸着させ、空容器に回収する。
	：多量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。
封じ込め及び浄化の方法	：危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	：排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い上の注意

取り扱い

技術的対策

・使用前に取扱説明書を入手すること。
・製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。
・眼の中、皮膚又は衣類につけないこと。
・取扱いの都度、容器を密閉する。
・粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
・取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

適切な保管条件

・製品記載の保管条件を読み、適切に保管する事。
・容器を密栓する事
・直射日光の当たる場所や高温になるところを避け、涼しい所、換気の良い場所で保管すること。
・子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

・特になし

8.暴露防止及び保護措置

設備対策

・屋内は全体に換気する。換気の悪い場所及び蒸気の発生の多い場所には局所排気装置を設ける。

・蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

		日本産業衛生学会	ACGIH	
	管理濃度	許容濃度	TLV-TWA	TLV-STEL
メタ珪酸ソーダ	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
水溶性溶剤	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
アミンオキサイド系（両性）	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
高級アルコール系（非イオン）	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

※記載の無いものは。知見なし、あるいはデータなし

保護具

呼吸器の保護具

・保護マスクを着用する。

・必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

・保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用すること。

・必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。

眼の保護具

・保護眼鏡（普通眼鏡等）、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用すること。

9．物理的及び化学的性質

外観・形状　：　微黄色透明液体
臭い　：　特異臭
引火点　：　なし
溶解度　：　可溶
密度（比重）　：　1.00-1.05（25℃）
pH 値　：　12..0~13.0

10. 安定性及び反応性

安定性　：　通常条件では安定
危険有害反応可能性　：　通常条件では安定
避けるべき条件　：　高温多湿
危険有害な分解性生物　：　危険／有害な分解生成物はない。

11. 有害性情報

製品全体としての有害性情報

記載の無いものは、GHS 分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

急性毒性　：　飲み込むと有害（区分 4）
メタ珪酸ソーダ（経口）　：　LD50　>1,000mg／kg　マウス
エチレンジアミン 4 酢酸ソーダ（経口）：　LD50　>1,658~2,000mg/kg　ラット
水溶性溶剤　（経口）　：　LD50　>5,000mg/kg　ラット
（経皮）　：　LD50　>2,000mg/kg　ラット
：　LD50　>2,000mg/kg　ウサギ
皮膚腐食性及び皮膚刺激性　：　重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷（区分 1）
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性　：　重篤な眼の損傷（区分 1）
呼吸器感作性又は皮膚感作性　：　データなし
生殖細胞変異原生　：　データなし

発がん性　：　データなし
生殖毒性　：　データなし
特定標的臓器毒性（単回暴露）　：　臓器（中枢神経系）の障害のおそれ（区分 2）
特定標的臓器毒性（反復暴露）　：　データなし
吸引性呼吸器有害性　：　データなし

12. 環境衛生情報

製品全体としての有害性情報
記載の無いものは、GHS 分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分
水性環境急性有害性　：　区分外
水性環境慢性有害性　：　区分外
残留性・分解性　：　データなし
生態蓄積性　：　ヒメダカ、24H、TLM:1－5mg／L（有効分のデータ）
藻類生長阻害試験、72H、EC50:2.18mg／L（有効分のデータ）
土壌中の移動性　：　データなし
オゾン層への有害性　：　データなし

13. 廃棄上の注意

・内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制　海上輸送　：　非該当
航空輸送　：　非該当

国内規制
陸上輸送　：消防法、安全衛生法等に定められている運送方法に従う
海上輸送　：船舶安全法に定められている運送方法に従う
航空輸送　：航空法に定められている運送方法に従う
安全対策　：取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと
：容器は転倒、転落、衝撃などを避けること。
：容器は温度の上昇を防止すること（40℃以下）
：火気の使用を禁止すること
：船舶安全法、航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

火薬類取締法	対象外
高圧ガス保安法	対象外
労働安全衛生法	非該当
労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則）	非該当
消防法	非該当
劇毒物法	非該当
PRTR 法（化学物質管理促進法）	非該当

16. その他の情報

参考文献
GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル作業場内の表示及び安全データシート（SDS）　JIS Z 7253(2012)
GHS 分類結果データベース　（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ）
JCDB 化学品法規制チェックシステム
J-CHECK ホームページ（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ）
産業中毒便覧　（医歯薬出版株式会社）
危険物船舶運送及び貯蔵規則　（海文堂）

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業者はこれを参考として自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。